

布施君の投稿を読んで

宮澤憲一 (10組)

布施修一郎君（6組）による父君布施祐一氏の寄稿文を、心からの敬意と懐かしさを交え拝読させていただきました。とにかく驚いたのが、ご健在とは聞いてはいましたが、104歳にして記憶力が鮮明であることです。その内容は充実しており、関係各方面の方々にとって貴重な資料になるはずで

す。また、iPadまで駆使されるとのこと、まさに、〈人生100年時代〉の先駆けでしょう。修一郎君と中学で同級だった時、父君にはお世話になりました。60年ぶりに改めてお礼申し上げます。

寄稿文に興味を持ったのは、父君が金沢の師団で従事されていたことです。

私事で恐縮ですが、金沢での学生時代に剣道部に所属していました。一年生の夏合宿のある日、突然、部員全員が映画撮影のエキストラに参加することになりました。

映画名は「あかね雲」（1967年公開、水上勉原作、篠田正浩監督、岩下志麻、山崎努主演）です。今年の8月の日経新聞「私の履歴書」に山崎努が、この映画のことに触れています。金沢の連隊の脱走兵と温泉町の仲居の悲恋物語です（下に当時のポスター）。



我々部員は、揃って大学の正門（当時）である石川門から兼六園に向かって銃を持って行進するという役柄でした。撮影現場から考えますと、父君の時代も、城内に第9師団本営や連隊施設があったのではないかと思います。詳細は分かりません。

お陰様で、辛い合宿の一日から解放されホットしましたが、エキストラ代は部費として召上げられました。

この映画の時代に、父君が金沢の陸軍病院にいらしたことは、全く知る由もありませんでした。山崎努のお陰で懐かしい時代を思い出することができました。

父君が今後ともご健勝で皇寿（111歳）まで全うされることを祈念します。

（2022年10月19日記）

以上